

平成30年度 特色ある学校づくりサポート事業

須賀川市立第二小学校

1 事業の名称 須賀川市立第二小学校学力向上等推進事業

2 事業の目的

須賀川市では「学校教育の重点」に「確かな学力の育成」や「体力づくり」が挙げられています。本校においても、児童の学力向上と体力向上、肥満率の低下を図ることは喫緊の課題であり、日々行われる授業を中心として目標達成に向けて取り組んでいるところです。そこで、確かな学力向上のために、学校全体で取り組む研究として『確かな学力を身に付ける子どもの育成』というテーマを設定し、教師の授業力の向上、学校の組織力の向上をめざして確かな学力向上の推進事業に取り組みたいと考えました。また、体力づくりの面でも、肥満児童を減少させるとともに、体力向上を目指し、日々の授業や休み時間等も利用しての活動(ランランタイム)を工夫したいと考える。また、多くの出会いを通して豊かな心を育くみ、小・小連携、小・中一貫教育を土台として、学校・地域間で人的交流を促進することで、体験活動を通して地域とのつながりを深め、郷土愛を育て地域に開かれた学校づくりを進めたいと考えました。

3 事業の内容

(1) 授業の工夫改善を意図した学校研究への取り組み

- 学校の共同研究として『確かな学力を身に付ける子どもの育成を目指して～わかる・できる授業づくりの工夫～』をテーマとしながら、須二中学区の小中一貫教育の推進を最重要課題としながら、学力向上に努めました。
- 市の学力テストの結果を分析検討し学習指導に生かしました。
小・中の円滑な接続を図り、9年間を見据えた系統的な教育を行うことで、一人一人の個性を伸ばし、生き抜く力を育みに努めました。
- 中学校との計画的な交流（教師の交流、児童生徒の交流）を推進しました。
- 一人一回以上の授業研究を行い、研究を深めました。外部講師招聘4回
- 研究の成果をまとめ、1月末に行われる教職員研究物展に出品しました。
- 食育と保健と連携しながら肥満率を下げるるとともに、体育の授業の充実を図り、体力づくりに取り組みました。肥満講演会、ダブルダッチ教室

(2) 授業以外の学習の場の設定

- 授業前の活動として「学力向上」の時間を週2回、「全校読書」の時間を週2回設定して、基礎・基本の定着の時間を確保するとともに、読書習慣を身に

つけさせ静かな雰囲気の中で授業に集中できる習慣を身につけさせました。

※ 時間設定・・・8時15分～8時25分までの10分間

- 毎週木曜日の2校時休み時間にランランタイムやルンランタイムを1年間設定して、全校生で走ることで体力向上を図りました。

(3) 学習センターとして図書館の環境作り

- 学習コーナーの整備を図り、調べ学習など児童が活用しやすい環境づくりに努めました。
- 学校司書や図書ボランティアを活用した読み聞かせや親子読書の奨励を推進しました。
- 表現力の向上を図るために俳句作りや読書紹介に取り組ませたり、読書意欲を高めるために「多読賞」や「読書郵便活動」などを設定したりしました。

(4) 外部人材の積極的活用

- 地域の人材を活用して地域の持つ教育力を生かし、地域とつながりのある教育活動を進めました。知る古会による須賀川探検や森林を守る会による森林学習など。
- 児童が主体的に取り組むように体験的な活動を積極的に進めました。(商店街見学や公共施設の見学、自動車工場見学など。
- 落ちている泳力をつけるため、外部講師を招聘して泳力を高めました。

(5) 小・中一貫教育の推進

- 須賀川第二中学校や阿武隈小学校・柏城小学校との教師や児童生徒との交流を積極的に進めました。
- 小小連携を積極的に進めます。小学校スポーツ集会、エコキャップ回収など。



ランランタイムで体力づくり



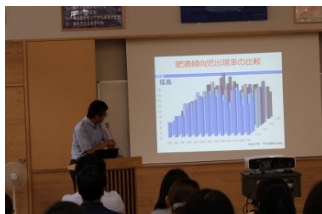
中学校教諭による陸上教室



外部講師による水泳指導



外部講師によるダブルダッチ教室



5年県建築士による新環境学習



知る古会による須賀川探検



外部講師を招聘しての授業研究会



図書ボランティアによる読み聞かせ